

来年度の授業形態に関する議題

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議
副議長 寛場広翔 (ぬたば ひろと)
知識情報・図書館学類 2年次

1

はじめに

- 全代会は全学の代表という立場を取っております。
- 本資料について
 - ①アンケート等の内容をもとに来年度の授業形態について学生の意見を伝えます
 - ②先生方から来年度の授業形態について情報をいただきたいです。

2

現状

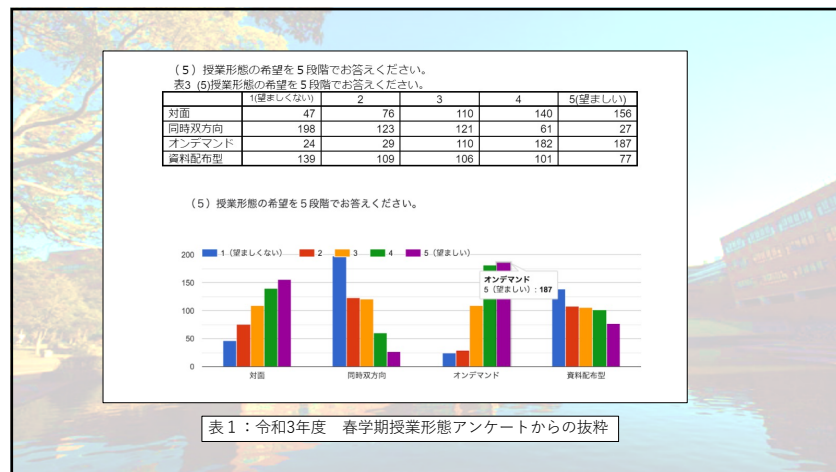
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響
 - 各学類等で差があるが、オンラインがメイン
- 対面授業が再開し始めている
 - 学類によっては対面授業を再開しているところもある。

3

現状

- 参考：春学期に行った授業形態アンケート
 - オンデマンドが望ましいという意見が多い。(表1)
 - だが、同様に対面授業も望まれている。

4



5

全代会としての意見

○来年度の授業について

秋学期はスポデーが開催され、サークルの対面活動も活発になってきている。そこで、大学は今後どのように授業形態を変更していく意向なのかを現時点の情報で良いのでお聞きしたい。

○福利厚生事業者と絡めて

対面授業を大きく増加させるとなれば、学内の福利厚生事業の対応も変更する必要がある。

6